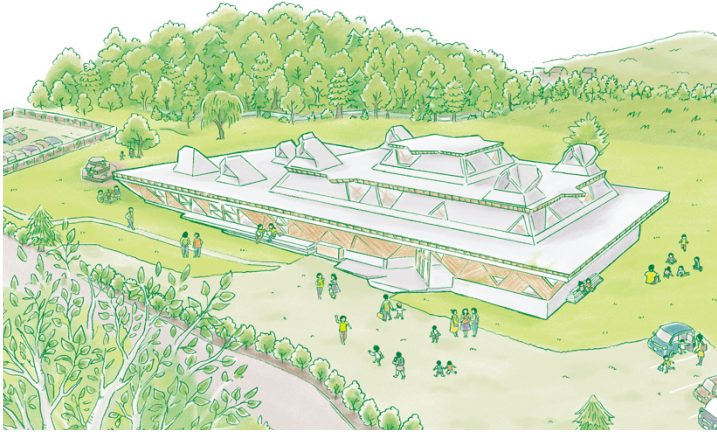




自然体験と多様性をコンセプトにした新園舎、 北海道浦河町に 2022 年開園予定

「森のようちえん」、「こだわりの給食」などの取り組みも続々と



自然と人間を愛する教育

浦河フレンド 森のようちえん

学校法人フレンド恵学園（北海道・浦河町）は、2022 年度より自園を幼保連携型認定こども園として「浦河フレンド森のようちえん」と名称を改め、自然体験や多様性をコンセプトにした新園舎を開設します。また、新園舎の開設に合わせ、子どもたちが森の中での遊びや学びを通じてクリエイティビティを育てるデンマーク発祥のメソッド「森のようちえん」、佐々木十美氏監修のこだわりの「自園調理」など、これまでにない魅力的な取り組みを開始します。

私たちの想い

子ども達には何よりも「子どもらしい」幼児期を過ごしてほしいと願っています。好奇心の赴くままに、夢中になって遊ぶ経験が、子ども達の【今の幸せ】と【将来の力】につながると信じるからです。そのために私たちができることは、子ども達にとって最善の環境を用意すること。そして、子ども達のサポートをすることです。子どもを「一人の人間」として尊重し、対等な関係性をもって応援します。

学校法人 フレンド恵学園理事長・園長 伊原 鎮



“森のようちえん”

自然体験活動を中心に据えた幼児教育。自然の中で子どもの五感は刺激され、心や脳、体が健やかに育ちます。浦河町は山や海など豊かな自然と過ごしやすい気候に恵まれ、新園舎の前にも山や小川があり、安全・快適に過ごせる場を馬の力などを借りながら整備しています。この環境を「遊ぶ場所」だけでなく、子ども達と「豊かな森をつくる」プロセスも大切にします。



“園舎について”

子ども達の活動の多様性を発展させていく事を目指しています。園舎そのものが「森のようちえん」を体現。自然素材に拘り森と同じように均質ではない空間を意識してデザインされ、自然のリズムや季節の移ろいを感じられます。壁の少ないひとつの大きな空間の中で、様々な年齢の子ども達が自由な使い方を創造し、居場所を見つけて過ごします。



“心と身体をつくる給食”

美味しさはもちろん、材料の産地や製造方法、作り手の想い、器、健康、調味料、楽しさ、命に対する感謝など様々な物事に拘りたいと考えています。子ども達や地域を巻き込んだ味噌作りや野菜作りも計画しています。食育・給食アドバイザーである佐々木十美さんに栄養管理士としてサポートしてもらっています。

お問い合わせ先

2021 年 4 月オープン



現在の園舎
浦河フレンドようちえん
〒057-0011
北海道浦河郡浦河町旭町 42 の 1
新園舎竣工後引越

ご連絡先(担当:岡田留美子)

0146-22-3354

公式 Web サイト

nakayoku.jp/ >>>



自動発達支援・放課後デイサービス

こどもの森
うらここ

urakoko.com/ >>>

